

ななかま



プリンストン日本語学校

平成29年度 No.42

平成30年 3月18日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



祝卒園・卒業・修了

児童・生徒の皆さんへ。

ひろげたままじゃ持ちにくいから／きみはそれをまるめてしまう／まるめただけじゃつまらないから／きみはそれをのぞいてみる／小さな丸い穴のむこう／笑っているいじめっ子／知らんかおの女の子／光っている先生のはげあたま／まわっている春の太陽／そしてそれらのもっとむこう／きみは見る／星雲のようにこんとんとして／しかもまぶしいもの／教科書には決してのってはず／蛍の光で照らしても／窓の雪ですかしてみても／正体をあらわさない／そのくせきみをどこまでも／いざなうもの／卒業証書の望遠鏡でのぞく／きみの未来

(『卒業』 谷川俊太郎)

◆今日は本校の卒園・卒業式。あわせて、平成29年度の修了の日となります。君たちの多くは、4月8日から本校に進級・入学し、新たな気持ちで学びを続けていくこととなります。また、ある子どもたちは、日本への帰国の途につき、新しい学校・新しい生活への挑戦が始まります。高等部の卒業やご家庭の都合により日本語学校の学びから離れることになる生徒もいます。君たちは、今日を境に様々な道を進んでいくこととなりますが、どの道を通ることになっても、これまで君たちが頑張ってきたという事実には変わりがありません。本校での学びが、皆さんの将来に少しでも役立ってくれることを願っています。日本語と英語、日本の文化と米国の文化、日本の心と米国の心……。今日この日までに、それぞれの学齢に見合った、実に多くのことを身に着けてきた君たち。やろうと思えばできることのなんと多いことか。社会から期待され望まれている児童・生徒の皆さん、君たちの未来の余りある幸せを信じて、次の一步を踏み出していきましょう。



本校に進級・入学し、新たな気持ちで学びを続けていくこととなります。また、ある子どもたちは、日本への帰国の途につき、新しい学校・新しい生活への挑戦が始まります。高等部の卒業やご家庭の都合により日本語学校の学びから離れることになる生徒もいます。君たちは、今日を境に様々な道を進んでいくこととなりますが、どの道を通ることになっても、これまで君たちが頑張ってきたという事実には変わりがありません。本校での学びが、皆さんの将来に少しでも役立ってくれることを願っています。日本語と英語、日本の文化と米国の文化、日本の心と米国の心……。今日この日までに、それぞれの学齢に見合った、実に多くのことを身に着けてきた君たち。やろうと思えばできることのなんと多いことか。社会から期待され望まれている児童・生徒の皆さん、君たちの未来の余りある幸せを信じて、次の一步を踏み出していきましょう。

ありがとうございました。

本日を持ちまして、平成29年度のプリンストン日本語学校が終了します。皆様のご協力に、総務オフィス一同心からお礼申し上げます。係担当部長会の図書/音響:今井さん、記録:小川さん、法務・渉外:吉田さん、運動会/会場:マホンさん・ネッスルさん、ファンドレイジング:メリーウェザーさん、広報:平山さん、IT:ソロモンさん、安全:前田さんをはじめとする各系の保護者の皆さん、父母会の会長:寺坂さん、副会長:ジュノードさん・ヌガイエンさん、書記・会計:高木さん、委員長の吉野さん・ブラムさんをはじめとするクラス委員の皆さん、そして、陰になり日向になって子どもたちを支え、学校を支えていただいた保護者の皆様に、改めて感謝いたします。先週紹介したPコースの作文のように、プリンストン日本語学校にもたくさんの思いやりと力が／見えぬけれどもあるんだよ、／見えぬものでもあるんだよ。ですね。(写真は、総務オフィサーメンバー。岡本総務長と藤副総務長が長身のため、私は見栄を張ってかなり爪先立って写っています。)



この春「ななかま」がリニューアルします、!

126枚目の本号をもって荒川版「ななかま」を終了いたします。ご愛読ありがとうございました。子どもたち、保護者の皆さん、教員たちへの応援歌として発行してまいりましたが、少々音痴な応援歌となったかもしれません。ご容赦ください。4月8日からは、新たな「ななかま」がスタートします。リニューアルした仲間たちとともに、これまでも増してご愛読いただければ幸いです。

今後の予定

本日 卒園式 12:30～
卒業式 14:30～

The Bart Luedeke Center **Cavella Room**

本日「卒業のしおり」配信

【平成30年度】

4月8日 入学式 13:30 入園式 15:00

The Bart Luedeke Center Cavalla Room

※大学の都合で”Gill Chapel”に会場変更の可能性があります。急な変更の際は4月8日前の一斉配信メール本文中でお知らせします。本日配信地図参照
当日は教科書や副教材が配布されます。教室訪問の時間帯は次の通りです。

14:45-15:00 小4～6、中学部、高等部

15:00-15:15 小1～3、プリンストンコース

※「入学のしおり」は4月配信します。

お世話になりました。

本年度で休職される先生方

中2担任 芝崎 雅行先生(休職)

P小担任 芝崎 啓子先生(休職)

高等部数学担当 岩崎 理恵先生(休職)

それぞれの立場で、ご活躍いただいた先生たちです。これまでのご尽力、ありがとうございました。また、保護者の皆様には、各先生に多くの応援をいただきました。改めて、感謝申し上げます。



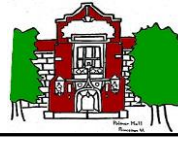
なかま

プリンストン日本語学校

平成29年度 No.42

平成30年 3月18日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



漢字の成り立ち

～ “子” のつく漢字 ～

No.11

●子どもがついた二(ふた)つの文字(もじ)を紹介(しょうかい)しましょう。どちらも漢字(かんじ)をかたどる「子」にも意味があります。

孝



孝

孝

孝

孝

「老」の下には「子」があって1つになって「孝」という字になりました。「親孝行(こうこう)」という字で目にします。

「老」と「子」が1つになって老人を子どもが背負うことを表しています。真ん中の『匕』は、省略されていきました。

●この糸と子で先祖(せんぞ)からおじいちゃん、お父さん、お母さん、子ども、孫(まご)とつながっていく字になりました。一字で『孫』(まご)、子どもとあわせて『子孫』(しそん)

孫



「系」(けい)は、「ノ」がないと「糸」(いと)になります。もともとは、同じようて糸で物(もの)がつながっている様子(ようす)を表(あらわ)しています。

子々孫々

孫